

感染状況・医療提供体制の分析(2月22日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (2月15日時点)	現在の数値 (2月22日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	3169人 (168.8人)	2179人 (116.1人)	↓	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	691人 (22%)	464人 (21%)	↓	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	1205人	809人	↓	陽性者は <u>人口10万人当たり116人</u> と減少傾向継続。季節性インフルエンザ注意報発令中。 全国と同じく、感染縮小の兆候があり、保健医療への負荷も改善してきている。しかしながら今後も、免疫の減衰や変異株の置き換わりの状況、人流の増加、社会活動の活発化などを注視しながら、感染状況を見ていく必要がある。基本的な感染防止策の徹底と、オミクロン株対応ワクチンの接種など感染対策の継続を。
		倉敷市保健所	703人	469人	↓	
		備前保健所	287人	198人	↓	
		備中保健所	330人	263人	↓	
		備北保健所	70人	53人	↓	
		真庭保健所	42人	62人	↑	
		美作保健所	368人	230人	↓	
その他	164人	95人	↓			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	174人 (28%)	128人 (21%)	↓	医療提供体制コメント レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
	④宿泊療養者数	24人	18人	↓	感染者数減少を受け、入院患者数も減少。救急搬送困難事案など、医療ひっ迫の状況は改善しつつある。	
	⑤自宅療養者数	3157人	2094人	↓		
	⑥重症者数	9人	5人	↓		